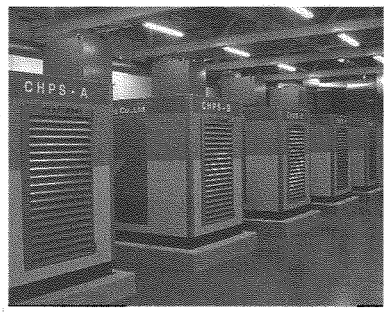
メタン
発酵設備



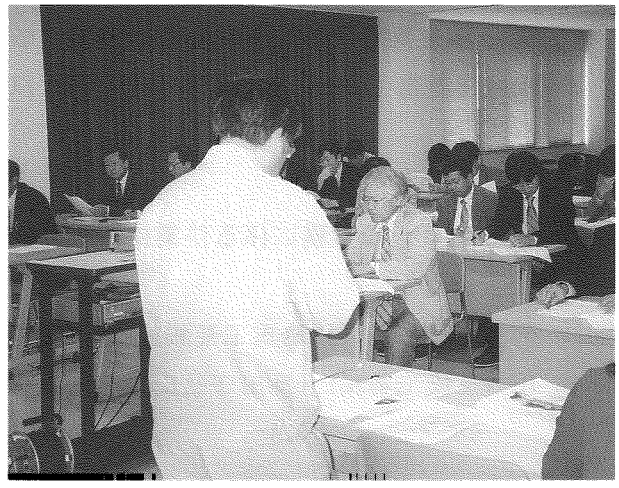
発電機

9　メタン回収施設、リサイクルプラザを見学

平成17年度第1回施設見学会は、7月8日北海道滝川市の中空知衛生施設組合リサイクリーン施設を対象に行った。岡山大学大学院田中勝教授を座長に会員会社から27名が参加した。現地では組合事務局副主幹の石川雅敏氏、見学受入れ窓口のバイオマス発信事務局及び施設納入の三井造船㈱の方々に施設の説明、案内、質疑応答などを担当していただいた。

見学対象施設のメタン回収施設は平成15年8月から供用を開始、生ごみ55 t/日の計画処理能力を持つBIMA式発酵槽で約27 t/日（平成16年度受入日の303日平均値）の処理を行い、消化汚泥は脱水後コンポストに、脱水分離液は脱窒処理、高度処理を行い河川に放流されている。一方、回収したメタンガスにより80kW×5台の発電機で発電を行い、リサイクルプラザ施設を含む場内使用総電力量の約60%を賄っている。

なお、当工業会では平成15年8月に北空知衛生センター組合生ごみメタン回収施設（16 t/日）の見学会を実施している。



中空知衛生施設組合副主幹石川氏
から説明を受ける参加者